

# 今月の展示 Pick Up!

→>> こんげつの てんじ びっくあつぷ

2014年4月号

今月のテーマは、  
「KD604 大型雪上車」  
です。



今月は「KD604 大型雪上車」を紹介するよ！  
紹介してくれるのは、石沢 賢二（いしざわ けんじ）さんです。

これは、南極点往復調査旅行で活躍した大型雪上車です。

第7次隊の南極観測の大きな目玉の一つは、昭和基地から南極点までの雪上車による調査旅行でした。このために日本の技術を結集して製作されたのが「KD604 型雪上車」です。観測隊からは、平地から4000kmの高地に適応したエンジンであること、往復5か月の生活に耐える居住性を持つことなど、多くの要望が出ました。依頼を受けた防衛庁技術研究本部は、各機関の連携のもとに設計を進め、1966年に1号機を昭和基地に陸揚げしました。そして、1968年9月から翌年2月にかけて南極点に至る往復5000kmの調査旅行を、同型の雪上車4台で成功させたのです。



石沢さんはどんなお仕事をしているのですか？

南極での生活や観測には、電力・暖房・造水などの基盤設備が不可欠です。日本から運搬できる燃料には限界があります。そこで、太陽や風力エネルギーなどの利用、エンジン発電機の余熱を使った技術が必要になります。また、内陸旅行には雪上車や特殊な橇（そり）も必要です。南極で使うこれらの設営技術について調査・研究しています。